

第3編 まとめ

第1章 計画の推進

1. 計画の進行管理、点検・評価

本計画に基づき教育行政を推進するにあたっては、P（Plan：計画）、D（Do：実行）、C（Check：点検・評価）、A（Action：改善）によるPDCAマネジメントサイクルのもと、進行管理、点検・評価を実施し、これらの活用を十分に図り、次年度の具体的な事業を検討することが必要です。

したがって、本計画では、基本目標ごとに可能な限り分かりやすい指標を設定します。これらの指標を施策の目的達成に対する目安としながら施策の成果を検証します。また、施策の推進にあたっては、数値目標の達成のみにとらわれることなく、市民満足度として当事者や参加者の意欲向上につながるような視点での点検・評価ということも十分配慮するよう留意します。

こうした点を踏まえた取り組みにより、効果的な教育行政の推進を図り、市民への説明責任を果たすとともに、計画の進行管理を行ってまいります。

	P (計画)	D (実行)	C (点検・評価)	A (改善)
市	第5次越谷市総合振興計画 基本構想(10か年) 基本計画(5か年) 大綱6 各部門計画	第5次越谷市総合振興計画 実施計画(3か年) 大綱6 施政方針 (単年度)	総務 事務事業 評価 総合 実績 報告書	改革・ 改善
教育委員会	越谷市教育振興基本計画 (5か年) (融合した既存計画) ・越谷市生涯学習推進計画 ・越谷市生涯スポーツ振興 計画 ・越谷市子ども読書活動推 進計画	教育行政方針 (単年度) 越谷市教育行政重点施策 (単年度で実行する 特に重要な施策)	点検 評価 報告書	改革・ 改善

2. 指標一覧

第5次越谷市総合振興計画後期基本計画の「めざす姿に関連する達成指標」および「施策の方向性」に掲げる指標を掲載します。

各指標では、令和6年度（2024年度）時点の現状値と計画最終年度となる令和12年度（2030年度）における目標値を掲げて、毎年度進捗状況を確認することで、施策の目的達成に対する目安としながら施策の成果を検証します。

基本目標1 生きる力を育む学校教育を推進する

■めざす姿に関連する達成指標

指標名	令和6年度現状値	令和12年度目標値
全国および埼玉県学力・学習状況調査において、平均正答率を上回った教科数	17教科	18教科
〔説明〕全国学力・学習状況調査については全国平均正答率を、埼玉県学力・学習状況調査については全県平均正答率を全18教科*で上回ることを目標とする。 ※18教科…全国：小6国語算数、中3国語数学の4教科 県：小4～6国語算数、中1～3国語数学、中2・3英語の14教科		
学校が楽しいと感じている児童生徒の割合	小学校 89.7% 中学校 87.7%	小学校 95% 中学校 90%
〔説明〕児童生徒を対象としたアンケート調査で、学校に行くのは楽しいと思うと回答した児童生徒の割合について、小学校95%、中学校90%を目標とする		

【施策の方向1 9年間を見通した越谷教育を推進する 1-1】

指標名	令和6年度現状値	令和12年度目標値
授業で学んだことを、生活場面や他の学習に生かしている児童生徒の割合	小学校 92.7% 中学校 87.8%	小学校 95% 中学校 91%
〔説明〕児童生徒を対象としたアンケート調査で、授業で学んだことを、生活場面や他の学習に生かしていると回答した児童生徒の割合について、小学校95%、中学校91%を目標とする。		
小中一貫型小中学校の整備校数	—	累計3学園
〔説明〕小中一貫型小中学校の整備について、累計3学園を目標とする。		

【施策の方向2 確かな学力を育む 1-2】

指標名	令和6年度現状値	令和12年度目標値
授業では、「考えてみたい」「やってみたい」と感じ、進んで課題に取り組んでいる児童生徒の割合	小学校 93.5% 中学校 88.5%	小学校 95% 中学校 91%
〔説明〕児童生徒を対象としたアンケート調査で、授業で「考えてみたい」「やってみたい」と感じ、進んで課題に取り組んだと回答した児童生徒の割合について、小学校 95%、中学校 91%を目標とする。		
児童生徒がICTを活用して学びを深めることを指導できる教員の割合	91.8%	100%
〔説明〕教員を対象としたアンケート調査で、児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるようにコンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導できると回答した教員の割合について、100%を目標とする。		

【施策の方向3 豊かな心を育む 1-3】

指標名	令和6年度現状値	令和12年度目標値
自分には、よいところがあると感じている児童生徒の割合	小学校 89.3% 中学校 86.4%	小学校 95% 中学校 90%
〔説明〕児童生徒を対象としたアンケート調査で、自分にはよいところがあると思うと回答した児童生徒の割合について、小学校95%、中学校90%を目標とする。		
人権教育研修会等の実施回数	年間9回	年間9回
〔説明〕教職員の指導力向上を目的とした各種研修の実施回数について、年間9回を維持することを目標とする。		

【施策の方向4 健やかな体を育む 1-4】

指標名	令和6年度現状値	令和12年度目標値
体力テストの5段階絶対評価で上位3段階の児童生徒の割合	小学校 80.2% 中学校 80.6%	小学校 86% 中学校 89%
〔説明〕各学校で実施している体力テストの各種目の記録を得点化し、その合計を5段階絶対評価した上位3段階（A～C）に入る割合について、小学校86%、中学校89%を目標とする。		
栄養教諭等による食に関する指導を実施したクラスの割合	98.6%	100%
〔説明〕栄養教諭等による食に関する指導（「給食時間の指導」または「チーム・ティーチング（共同授業）」）を実施したクラスの割合について、100%を目標とする。		

【施策の方向5 自立する力を育む 1-5】

指標名	令和6年度現状値	令和12年度目標値
特別支援学級設置率	95.5%	100%
〔説明〕市内小中学校の特別支援学級の設置割合について、100%を目標とする。		
不登校児童生徒が校内外の機関等で相談・指導を受けた割合（つながり率）	66.3%	85%
〔説明〕教育センターや養護教諭、スクールカウンセラーなどによる専門的な相談・指導を受けた公立小・中学校の不登校児童生徒の割合について、85%を目標とする。		

【施策の方向6 質の高い教育環境を整備する 1-6】

指標名	令和6年度現状値	令和12年度目標値
教職員の研修に対する満足度	96.9%	100%
〔説明〕教職員を対象としたアンケート調査で、研修の内容が分かりやすかったと回答した教職員の割合について、100%を目標とする。		

基本目標2 生涯にわたる学びを充実し、地域文化を振興する

■めざす姿に関連する達成指標

指標名	令和6年度現状値	令和12年度目標値
市が主催する各種学級・講座の参加者数	年間26,844人	年間30,000人
〔説明〕市が主催する各種学級・講座の参加者について、年間30,000人を目標とする。		
市が主催する芸術文化活動等における出品者数・参加者数・来場者数	年間15,549人	年間16,000人
〔説明〕文化総合誌「川のあるまちー越谷文化」、越谷市美術展覧会、越谷市民文化祭など市主催9事業における出品者、参加者および来場者について、年間16,000人を目標とする。		

【施策の方向1 生涯にわたる学びを進める 2-1】

指標名	令和6年度現状値	令和12年度目標値
生涯学習関係団体と連携した事業数	年間89事業	年間95事業
〔説明〕生涯学習関係団体と連携した事業について、年間95事業を目標とする。		
蔵書回転率	203.7%	260%
〔説明〕図書館等の蔵書の回転率について、260%を目標とする。 ※蔵書回転率とは、貸出延べ冊数を蔵書冊数で割った値を示したものの。		
科学講座における新規事業の割合	25.5%	30%
〔説明〕科学講座における新規事業の割合について、30%を目標とする。		

【施策の方向2 文化活動を充実し、郷土の歴史を継承する 2-2】

指標名	令和6年度現状値	令和12年度目標値
こしがや能楽堂における主催事業の来場者数	年間2,448人	年間2,500人
〔説明〕こしがや能楽堂にて実施する主催事業の来場者について、年間2,500人を目標とする。		
市が主催する芸術文化活動等における広報回数	年間63回	年間65回
〔説明〕文化総合誌「川のあるまちー越谷文化」、越谷市美術展覧会、越谷市民文化祭など、市が主催する芸術文化活動等の主な事業（9事業）における広報回数について、年間65回を目標とする。		
文化財を活用する事業への参加者数	年間12,851人	年間15,000人
〔説明〕文化財を知ってもらうために実施する事業への参加者数について、年間15,000人を目標とする。		

基本目標3 生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる

■めざす姿に関連する達成指標

指標名	令和6年度現状値	令和12年度目標値
スポーツ・レクリエーション活動を週1回以上行う成人市民の割合	43.9%	50%
〔説明〕 市政世論調査における「スポーツ・レクリエーション活動の実施状況」という項目で、「週に1回以上」活動を行ったと回答した割合について、50%を目標とする。		
主要体育施設の利用者満足度	97.1%	100%
〔説明〕 総合体育館、越谷市民球場、しらこぼと運動公園競技場の利用者アンケートの総合評価（満足以上の平均割合）について、100%を目標とする。		

【施策の方向1 健康ライフスタイルづくりを支援する 3-1】

指標名	令和6年度現状値	令和12年度目標値
スポーツ教室等の参加者数	年間8,737人	年間12,000人
〔説明〕 各種スポーツ教室等の参加者数について、年間12,000人を目標とする。		

【施策の方向2 スポーツ・レクリエーション活動を支援する 3-2】

指標名	令和6年度現状値	令和12年度目標値
スポーツリーダーバンク登録者数	累計121人	累計150人
〔説明〕 スポーツ・レクリエーション活動の指導者であり、各種スポーツ大会の担い手となる人材の登録者について、累計150人を目標とする。		
体育館の利用者数	年間541,195人	年間557,500人
〔説明〕 市内における体育館の利用者について、年間557,500人を目標とする。		

